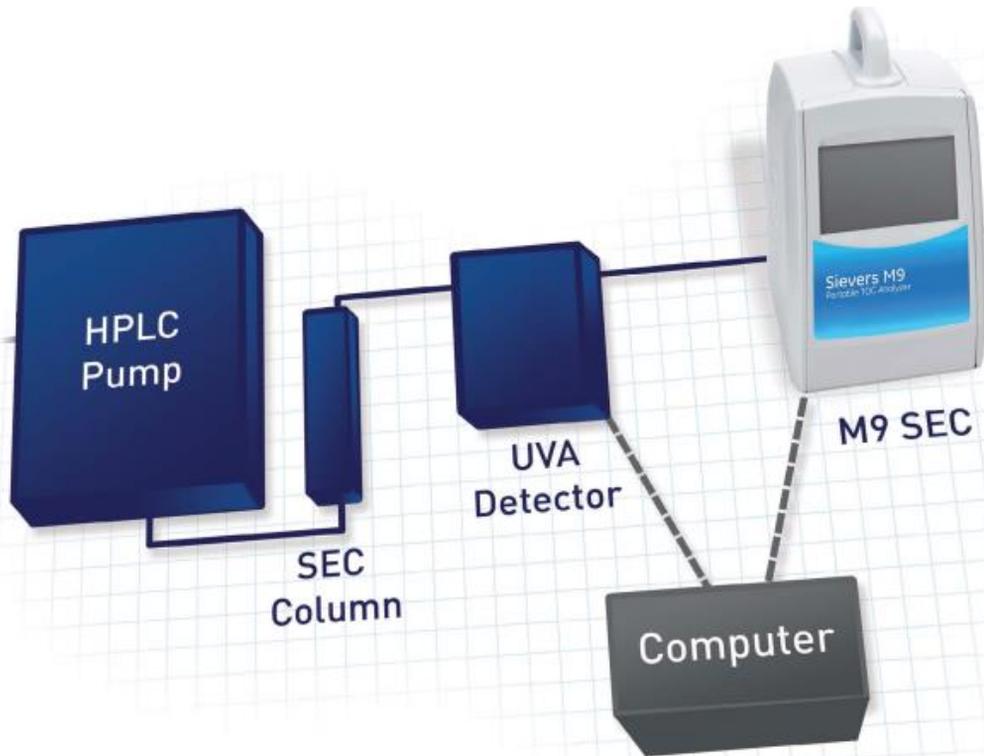
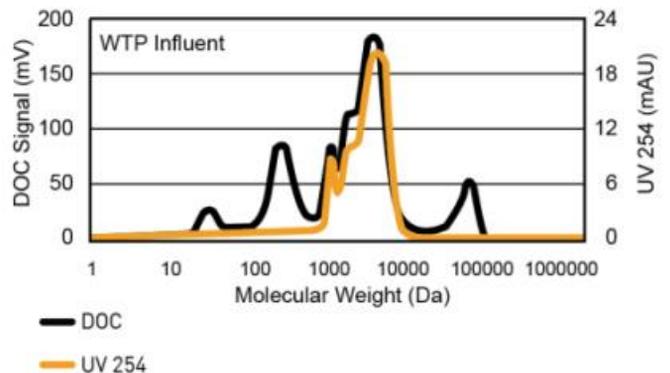


Sievers* M9 SEC DOC検出器



Sievers M9 SECの特長

- サイズ排除クロマトグラフィーのDOC検出器として特別に設計
- 一般的なUV検出器では検出できない糖類やアルコール類を検出可能
- DOCとUVを組み合わせることで幅広い有機物の特性評価が可能
- 既存のHPLCシステムに検出器として設置
- 他の検出器と組み合わせて使用可能



排水処理後に存在する分子量分画の例



アプリケーション

- ・ 膜処理：ファウリングの可能性や汚染物質の除去率を評価
- ・ 水道原水：原水の水質変化の理解/DBPの原因物質の研究
- ・ 排水処理：水処理薬品の種類や使用量の最適化/環境負荷への配慮

仕様

動作仕様	
サンプルタイプ	HPLC用ポンプを使ってDOC検出器へサンプルを送液する DOC検出器はターボモード（4秒毎の測定）で測定を行う
校正	DOC検出器はフタル酸水素カリウム（KHP）で多点校正を行う PEGやPSSなどの分子量スタンダードを使って分子量に対する保持時間の校正を行う
分析時間	一般的には60～90分（HPLC側の測定条件に依存）
サンプル温度	DOC検出器の対応サンプル温度は5～60℃（HPLC側の仕様も要確認）
周辺温度	5～40℃
サンプル流量	1mL/min（HPLC用ポンプで流量調整）

検出器仕様	
測定原理	湿式紫外線酸化+ガス透過膜式導電率測定方式 無機炭素除去装置(ICR)によりICを除去し、不揮発性有機炭素または全炭素を測定
出力	4-20mA出力 3点、アラーム出力 4点、バイナリー入力 1点、USB(デバイス) 1点、USB(ホスト) 2点 *TC/MPOCの測定値はHPLCソフトウェアへ出力されます
ディスプレイ	7インチ WVGA 800 x 480 ピクセル; カラーLCDタッチスクリーン
電源	AC 100～240V; 50/60Hz; 100VA
寸法	229(W) x 464(D) x 395(H) mm
質量	9.4 kg
IP規格	IP-21

HPLCシステム推奨セットアップ	
HPLC用ポンプ	均一濃度で送液可能なアイソクラティックポンプ
試料注入部	マニュアルインジェクター もしくは オートサンプラー
脱気装置	ガスの影響を最小限に抑えるために必要
UV 検出器	多波長検出器 または ダイオードアレイ検出器 (DAD)
サンプルの前処理	0.45μmフィルターによるろ過処理が必要
溶離液	0.025M硫酸ナトリウムを用いたリン酸緩衝液 (0.004M, pH=6.8) ※有機物が含まれない緩衝液を使用
アナログインプット	DOC検出器からのアナログ出力をデータ処理部へ送るために必要
データ処理部	測定データからレポートを作成するために必要

設置環境	
相対湿度	0～95%; 結露しないこと
高度	3000m以下

*仕様は予告無しに変更される場合があります。

お問い合わせ先



セントラル科学株式会社

本社 〒112-0001 東京都文京区白山 5-1-3 東京富山会館ビル
TEL. 03-3812-9186(代) FAX. 03-3814-7538

大阪支店 〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-6-18 新大阪和幸ビル
TEL. 06-6392-1978(代) FAX. 06-6392-1971

URL <https://aqua-ckc.jp/>